

令和7年度予約型乗合い交通「ゆたぼん号」の運行実績について

- 1 集計期間
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで 12か月間
- 2 運行日数（日・祝日は運休）
293日（前年同時期 293日）
- 3 利用実績

区分	利用者数				運行便数				運行経費・運賃収入		
	交通不便エリア発	目的地エリア発	計	前年同期間	交通不便エリア発	目的地エリア発	計	前年同期間	運行経費	運賃収入	差額負担分
温泉場	668 人	527 人	1,195 人	894	441 便	340 便	781 便	596	1,546,380 円	400,800 円	1,145,580 円
オレンジライン	2,714 人	2,408 人	5,122 人	4,427	1,078 便	1,027 便	2,105 便	1,895	4,167,900 円	1,576,200 円	2,591,700 円
鍛冶屋	450 人	91 人	541 人	214	309 便	79 便	388 便	178	527,680 円	168,300 円	359,380 円
福浦	424 人	139 人	563 人	295	270 便	104 便	374 便	243	508,640 円	179,000 円	329,640 円
計	4,256 人	3,165 人	7,421 人	5,830	2,098 便	1,550 便	3,648 便	2,912	6,750,600 円	2,324,300 円	4,426,300 円
月平均	355 人	264 人	618 人	486	175 便	129 便	304 便	243	562,550 円	193,692 円	368,858 円
令和6年度同期間計	3,136 人	2,694 人	5,830 人		1,564 便	1,348 便	2,912 便		4,893,570 円	1,837,600 円	3,055,970 円
前年同期間比	1,120 人	471 人	1,591 人		534 便	202 便	736 便		1,857,030 円	486,700 円	1,370,330 円
令和5年度同期間計	2,555 人	1,970 人	4,525 人		1,242 便	986 便	2,228 便		3,784,330 円	1,429,700 円	2,354,630 円
前々年同期間比	1,701 人	1,195 人	2,896 人		856 便	564 便	1,420 便		2,966,270 円	894,600 円	2,071,670 円

合計(内数)	乗車運賃	利用者数	
障害者手帳等	300円	239 人	3.22 %
運転経歴証明書	300円	466 人	6.28 %
小学生以下	無料	0 人	0.00 %
重度障がい者等	福祉タクシー券	0 人	0.00 %

- 4 評価基準
- (1) 乗車密度（利用者数/運行便数）

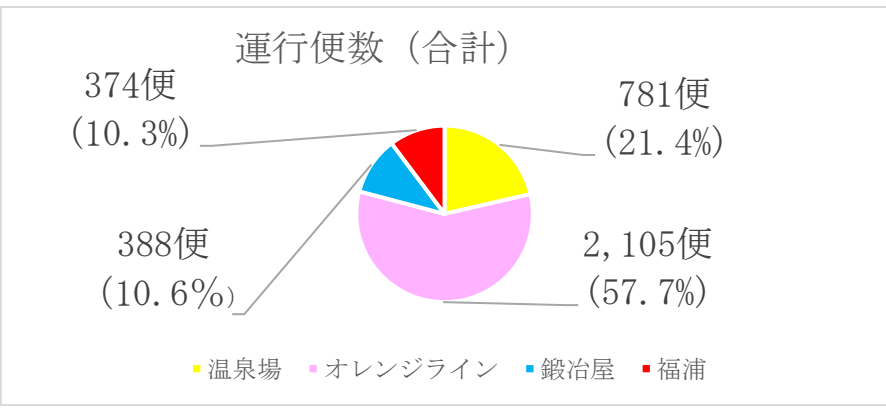
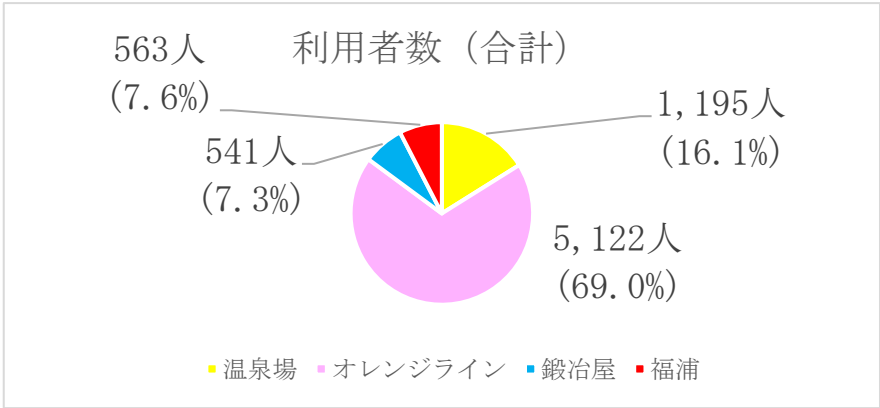
	(前年同期間)	
温泉場	1.53 人	1.50人
オレンジライン	2.43 人	2.34人
鍛冶屋	1.39 人	1.20人
福浦	1.51 人	1.21人
全体	2.03 人	2.00人

(数値目標：1.5人以上)

- (2) 稼働率（運行便数/（運行日数×一日の最大運行便数））
- (前年同期間)

温泉場	33.3 %	25.4%
オレンジライン	89.8 %	80.8%
鍛冶屋	22.1 %	10.1%
福浦	21.3 %	13.8%
全体	44.5 %	35.5%

(数値目標：40%以上)



- 5 今後の方向性について
- (1) 運行エリアの拡大
現在、交通空白地域となっている城堀・吉浜・川堀エリアへの「ゆたぼん号」整備に向けて、検討・調整を図る。
- (2) 運賃の改定
「ゆたぼん号」の運賃については、令和元年の運行開始時から据え置きとしているが、運行経費は増額しており、適正な費用負担の観点から、運賃の見直しを検討する。
- (3) 運行便数の拡大
令和元年10月の運行開始時から、鍛冶屋・福浦エリアにおける4便目は運休としているが、利用者が増加傾向にあること、また、利用者からの要望を踏まえ、今後、4便目の運行について検討していく。